

海岸漂着物対策の推進に関する提言書

平成24年11月

伊勢湾総合対策協議会
(三重県、岐阜県、愛知県、名古屋市)

平成 25 年度国の予算編成に係る提言について

伊勢湾総合対策協議会

伊勢湾総合対策協議会では、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市の三県一市による広域的な連携のもと、伊勢湾の総合的な利用と保全に係る施策を推進しています。

海岸漂着物については、伊勢湾における海岸景観や自然環境への影響から、その対策が重要となっています。

このため、美しく健全で活力ある伊勢湾の再生に向け、海岸漂着物処理推進法に基づき別紙の措置を早急に講じられるよう提言します。

平成 24 年 11 月

伊勢湾総合対策協議会 代表委員 三重県知事 鈴木 英敬

委員 岐阜県知事 古田 肇

委員 愛知県知事 大村 秀章

委員 名古屋市長 河村 たかし

海岸漂着物対策の推進

伊勢湾は広い流域面積を有する閉鎖性の内湾であることから、流域の河川を經由して流出したごみが湾内の海岸、特に湾口部の離島などに大量に漂着するなど、本来の美しい海岸景観だけでなく、自然環境や漁業にも影響を及ぼしています。

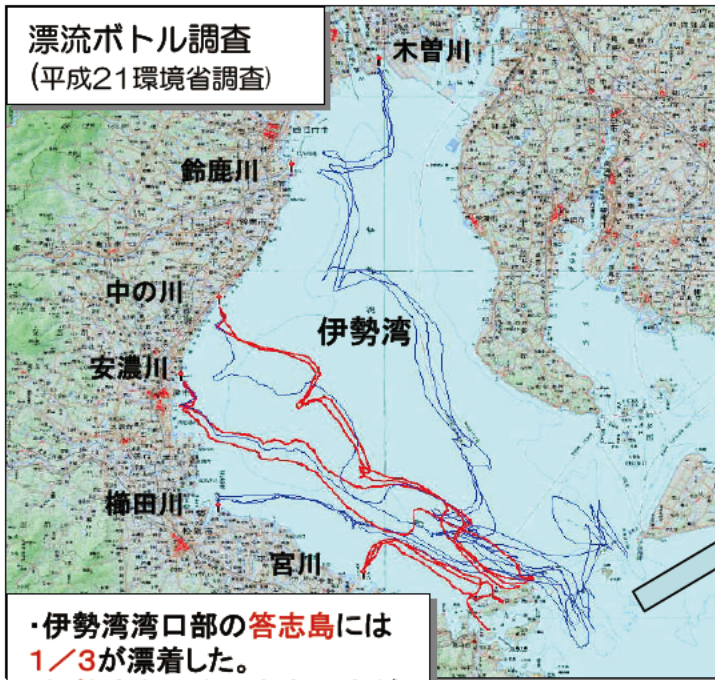
その漂着量は年に1万トンを超えると推定されており、海岸管理者やボランティア団体が海岸の清掃を行っても、短期間でまた元に戻る状況です。

そのため、伊勢湾流域圏の東海三県一市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）は、伊勢湾総合対策協議会に海岸漂着物対策検討会を設置して、広域的な連携・協力による効率的な発生抑制対策等を検討しています。

しかし、地域グリーンニューディール基金が平成23年度で終了し、各県市とも海岸漂着物対策に要する財源確保が課題であることから、次の事項について早急に対策を講じられるよう提言します。

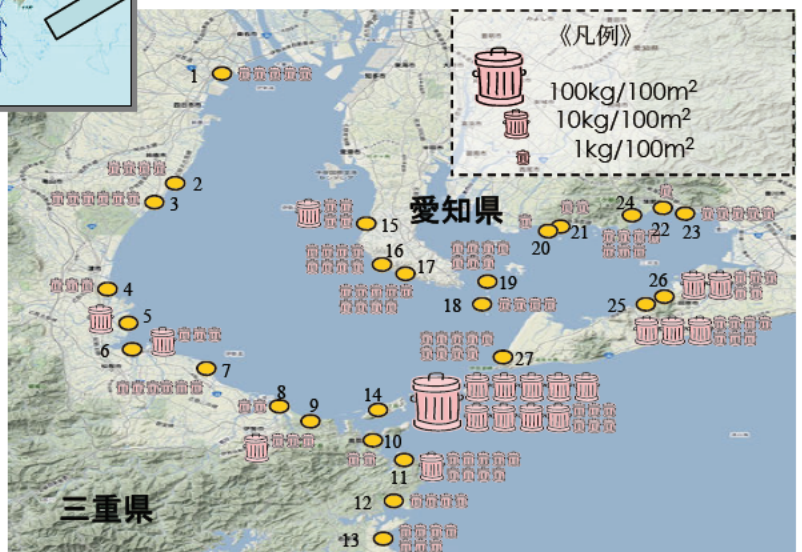
- 1 海岸管理者等が実施する海岸漂着物の回収・処理に要する費用について恒常的かつ必要な財政上の措置を講ずること。
また、海岸漂着物処理事業費補助金（概算要求中）の対象区域を離島振興地域だけでなく、海岸漂着物処理推進法に基づき選定した重点区域全域とすること。
- 2 海岸漂着物の発生抑制対策として、流域圏の河川において実施するごみの清掃や散乱防止対策等に要する費用について財政上の措置を講ずること。
- 3 効率的な海岸漂着物対策のため、複数の自治体が共同して設置した検討会等の運営等に要する費用について財政上の措置を講ずること。

■ 大量に堆積する海岸漂着物



奈佐の浜(鳥羽市答志島)の海岸漂着物

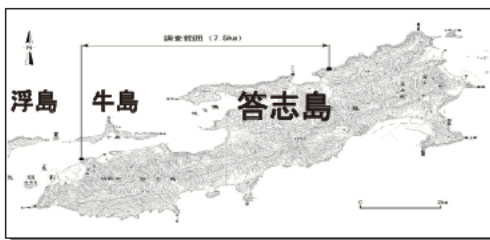
- ・伊勢湾湾口部の答志島には1/3が漂着した。
- ・伊勢湾内には18本中10本が漂着した。



答志島等でのごみ回収量(単位 kg)
(平成24年環境省実施)

島名	人工ごみ	流木・灌木
答志島	900	21,188
牛島	1,380	12,964
浮島	720	23,658
合計	3,000	57,810

海岸漂着物の現況を把握するための現地調査をもとに作成
調査時期:愛知県(H22.11~12)、三重県(H21.11~H22.10)



■ 海岸漂着物の回収・処理の取組

「22世紀奈佐の浜プロジェクト」による清掃活動

実施日	参加者数	海岸漂着物回収量
H24.6.9	約300名	可燃ごみ1,360kg 他
H24.9.8	約400名	可燃ごみ2,380kg 他



■ 「地域グリーンニューデール基金」と「海岸漂着物処理事業費補助金」の比較

	予算額	補助率	対象海岸
地域グリーンニューデール基金 (海岸漂着物)	55億円 (H21~H23の3カ年)	10/10	全て
海岸漂着物処理事業費補助金 (概算要求中)	1億円	50/100	重点区域かつ離島 振興地域内の海岸

三県一市知事・市長からのメッセージ



愛知県
知事
大村 秀章

愛知県では、昨年8月に、海岸漂着物対策推進地域計画を策定し、海岸管理者等、市町村、民間団体等が連携・協力して、海岸漂着物対策を行っています。海岸漂着物の多くは、河川等から流入し、県域を越えて移動するため、三県一市による連携を強化し、広域的な発生抑制対策に取り組んでいきたいと考えています。



岐阜県
知事
古田 肇

岐阜県では、森川海を一体とした自然環境保全に取り組む「清流の国ぎふづくり」を推進しています。その中で、上下流域の皆さんによる間伐や海岸清掃活動等を通じ、海的环境は森や川を守ることから始まることを御理解いただいています。本年9月に開催される「ぎふ清流国体・清流大会」でも、皆さんと共に伊勢湾再生に向けた「清流の国ぎふづくり」をアピールしていきます。



名古屋市
市長
河村 たかし

私たちの生活の場である都市は、水によって森、川、海とつながっています。海岸漂着物について考えることを通じて、伊勢湾流域圏のたくさんの方が連携・協力していくことは、健全な水循環や生物多様性保全の観点からも重要なことです。豊かな伊勢湾を未来へ引き継いでいくために、三県一市で共に考え、取り組んでいきましょう。



三重県
知事
鈴木 英敬

三重県の答志島をはじめとして、海岸漂着物の対策に多くの方が苦勞されています。今、こうした地域の現状を伊勢湾流域圏全体で共有し、海岸漂着物を私たち一人ひとりの問題と捉えて、その思いを行動に移すことが求められています。皆さん、ぜひ一緒に、伊勢湾流域での活動を盛り上げていきましょう。